

2020年3月23日

三田市長 森 哲男 様

三田市民病院を守る会

代表 [REDACTED]

連絡先 宝塚医療生活協同組合三田支部

三田市小野 [REDACTED]

電話 [REDACTED]

第2回北神・三田急性期医療連携会議の協議内容について

市民のいのちと健康を守るためにご奮闘されていることに敬意を表します。

さて、第2回北神・三田急性期医療連携会議が2020年2月6日に開催されていますが、この中で三田市民病院の現状・課題について、「施設・設備・医療機器の老朽化、内部留保資金の枯渇」を上げられ、済生会兵庫県病院の現状・課題についても「施設・設備・医療機器の老朽化、厳しい経営状況」と全く同じ内容を課題に上げられています。

これは2019年11月21日第1回会議で確認していた検討項目、「両病院の診療機能、診療体制等の課題の抽出と解決方策」からみても、検討すべき範疇を超えた現状認識の共有になっています。施設老朽化を共通した課題にあげることによって、統合して新設（統合再編）へと議論をすすめる布石になっているように見受けられます。

3月10日神戸市会予算特別委員会保健福祉局審査において、五島大亮議員がこの連携協議に関する質疑をされ、「北区と三田市は盆地みたいになっていて、その中に急性期の病院があるのが理想。特に三田市民病院は市民一人当たりの財政負担も大きく、これを解決して急性期病院を一つ整備することが、三田市民も北神の神戸市民もお互いハッピーになる」という意見表明をされています。

つまり、連携協議で設定された問題意識を発展させれば、統合再編へ議論が進んでいるように見えるという意見がでるという事です。

これは、三田市議会での議論も無視したもので、三田市民にとっては見逃すことのできない状況です。

そこで、第2回北神・三田急性期医療連携会議の協議内容が、両病院の統合再編へむけた議論をすすめるものだったのか、そうではないのか明らかにすることを求めます。

この申し入れについての懇談、意見交換の場を速やかに設けて頂くことを求めます。